

広川町立図書館へ行こう!

☎ 広川町立図書館 ☎ 0943-32-1163



■ 今月のおすすめの本



サウナのトリセツ
小林弘幸 / 著
学研プラス



身近にあふれる「自然災害」が3時間でわかる本
左巻健男 / 編著
明日香出版社



焚き火をとことん楽しむ
ガルヴィ編集部 / 編
実業之日本社



タクシードライバーぐるぐる日記
内田正治 / 著
三五館シンジャ



ひと鍋パスタ
堤人美 / 著
新星出版社



山のふもとのブレイクタイム
高森美由紀 / 著
中央公論新社



未来のきみを変える読書術
苫野一徳 / 著
筑摩書房



古典がおいしい! 平安時代のスイーツ
前川佳代 / 著
かもがわ出版



トモダチ
あいほらひろゆき / 作
サニーサイド



めいたんていサムくんとなぞの地図
那須正幹 / 作
童心社

■ 駄菓子屋くじ気分 de 雑誌付録を GET!

くじを引いてもらい、出てきた番号と同じ番号の雑誌付録をプレゼントします。

- 対象 利用カードを持ち、期間中に本や CD などを10点以上借りた中学生以上 (1人1回のみ)
- 期間 2月11日(金)～ (なくなり次第終了)

■ 2月のおはなし会 [場所・読み手]

- 9日(水) 10:30～11:00 乳幼児向け「かつちんこ」
[ハグハグ・絵本コンシェルジュ]
- 12日(土) 10:30～11:00 児童向け
[お話しの森・きらら]
- 20日(木) 10:30～11:00 児童向け
[お話しの森・たまてばこ]

■ 2月の休館日

- 1日(火)～6日(日) (特別整理期間)・7日(月)・14日(月)・21日(月)・28日(月)
- 毎週(月)・第1(木)が休館、(月)が祝祭日の場合は翌日以降の直近の平日が休館

町立図書館ここがすごい!

vol.16 充実した催し物①

町立図書館の良さをお伝えします

広川町立図書館での催し物は、大きく分けて「定例イベント」「特別イベント」「行事」「講座」の4つがあります。今回は定例イベントと特別イベントについてご紹介します。定例イベントでは、毎月第1(出)・第3(日)に絵本の読み聞かせを行っています。いずれも10時30分から30分程度のお話し会です。特別イベントは不定期に行うもので、これまで「図書館クイズ」や「干支ラリー」を行いました。ちょっとした景品もありますので、ぜひご参加ください。



「干支ラリー」とは館内にあるヒントをさがして、カードに書かれた言葉を完成させるゲームです。今年もたくさんの子供もたちが参加してくれました。

よかよかだより

【紙面版】 ボランティア出前講座

ボランティアのいま④ 居場所づくり編

2021年8月号からシリーズで紹介している【紙面版】ボランティア出前講座。最終回となる今回は、公民館を活用した多世代交流の場「久泉ふれあいのひろば」の綾戸さん（代表）、緒方さん、馬場さんのお話から「居場所づくりのいま」について考えます。

公民館をみんなの居場所に

綾戸 平成27年当時、子ども食堂が全国的に注目され、広がりをみせていました。「久泉でも実現できないか」とまちづくり委員会の中で声があがったことが「久泉ふれあいのひろば」を始めたきっかけです。以前から、老若男女、みんなが集まる居場所として公民館を活用できないかと話し合いを進めていたこともあり、誰でも参加できる多世代交流を目的として「久泉ふれあいのひろば」を立ち

上げることになりました。地域の子どもと大人が、ふれあいを通して互いに成長していける居場所にしようと「食事支援」と「学習支援」を取り組みの柱とし、約1年間の準備期間を経て、地域の公民館を拠点に平成29年4月、取り組みを開始しました。

取り組みから広がるつながり

馬場 「久泉ふれあいのひろば」は、さまざまな特技をもつ地域のボランティアが運営しています。食事支援で使う食材は、フードバンク団体や地元企業・事業所などから寄付を頂き、多くの人や団体からの協力により安定して取り組みることができています。
綾戸 学校、企業、地域。思いを伝えながら、自分たちがつながりを意識することで、活動の幅が広がっていくように感じます。

互いが学び、認め合う場

緒方 この活動を通して「人は、受け入れられ、安心して居られる場所があれば、自分で育っていくものなんだ」ということを実感しました。初めは、場の雰囲気馴染めず、会場にもなかなか入れなかった子どもが、ちょっとしたお手伝いをきっかけに、徐々に輪に溶け込むようになり、今では小さい子どもたちの面倒を見てくれるまでになりました。子ども一人ひとりの成長を肌で感じることで、き、やりがいを感じています。

馬場 国際理解を深めるイベント学習の中で、外国の暮らしについてみんなで学ぶ機会がありました。世界に目を向けると、食べたくても食べられない子どもがたくさんいることを知り、自分たちに何ができるのか、フードロスや地球環境を考えるきっかけにもなりました。

緒方 「何かに失敗しても、新しい方法を試したらいい」「苦しいときは逃げてもいい」ということを、子どもたちとの対話を通して伝えていきたいです。ここでのいろいろな人との出会いが、子どもたちにとっても、大人にとっても「生きる力」として残っていくといいなと思っています。

居場所づくりのいま

地域のつながりの希薄化、社会的に孤立した暮らしが浮き彫りになる中で、さまざまな形で「居場所づくり」が行われるようになりました。「居場所づくり」は、拠点としての意味合いもありますが、人と人がつながり、互いの存在や考え方を尊重し認め合う「社会（地域）づくり」につながる活動ともいえるのではないのでしょうか。



▲ 12/18(土)「久泉ふれあいのひろば」でしめ縄を作りました。

ボランティア活動センター
「よかよか」（はなやぎの里2階）
平日8時30分～17時15分
☎ 0943-327073
FAX 0943-327074